

# うたづ 議会だより

2024  
第91号  
2.1  
香川県宇多津町



1/7 出初式

定例会「令和5年度一般会計補正予算」ほか

②

議員の賛否・町政を問う

④

一般質問「災害における対応は」ほか

⑤

議会を傍聴してみませんか？

⑭

## 第4回定例会

令和5年第4回定例会は12月4日から12日までの9日間で開会されました。16の議案（後に1件取り下げ）を慎重に審議しました。

### 主な内容

#### ①令和5年度宇多津町一般会計補正予算

（第4号）

1億2726万円（全会一致で可決）

主なものとして、マイナンバーカード事業やコンビニ交付に伴う戸籍・住民基本台帳のシステム改修費、第3子以降の学校給食費無償化、火災被害の青ノ山山頂展望台改修工事、燃料費高騰に伴う農業者支援給付金等である。

#### ②宇多津町印鑑条例の一部を改正する条例

（全会一致で可決）

③宇多津町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

（全会一致で可決）

②③はマイナンバーカードによるコンビニ

の多機能端末で証明書交付を可能なものとするため。

#### ④議案の撤回について

（賛成多数で可決）

「宇多津町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例」を人事院勧告の改正に準じ提出していたが、物価高騰等で町民生活を圧迫している経済情勢から町民と苦楽を共にするためとの理由で撤回承認があった。

【反対討論】

議案提出日から4日で撤回するのであれば、当初から提案の必要性はなかったのではないかと。また過去にはコロナ禍でも人事院勧告に基づく引き上げがされてきた中で整合性はどうかの。

#### ⑤宇多津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

（全会一致で否決）

【反対討論】

町長、教育長の報酬引き上げを見送った経緯から、同じく特別職である町議会議員の報酬を引き上げるべきではない。

#### ⑥宇多津町下水道基金条例を廃止する条例

（全会一致で可決）

宇多津町下水道事業は令和6年4月より地方公営企業法の財務規定を適用することから宇多津町下水道基金を廃止する。

#### ⑦宇多津町手数料条例の一部を改正する条例

（全会一致で可決）

マイナンバーカードを用いてコンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書の交付を受けた場合の手数料を200円と定める。

## 第3回臨時会

令和5年第3回臨時会は12月20日の1日限りで開会され、国の総合経済対策に伴う補正予算等を審議しました。

### 主な内容

#### ①令和5年度宇多津町一般会計補正予算

（第5号）

1億5150万円（全会一致で可決）

主なものとして、住民税非課税世帯等の対象世帯（約2000世帯）への7万円給付や、観光振興事業として外国人観光客増加を目的にした宇多津町のプロモーション動画作成などである。



# 合同・総務建設・教育民生常任委員会

## 子ども医療支給費について

- Q** 子ども医療支給費で医療費の伸びがある。コロナ感染前との比較は。
- A** 1人あたりの医療費は、子ども医療費に限らず国民健康保険、後期高齢者医療保険にしても医療費は伸びている状態。

健康増進課

## 新型コロナ感染対策対応地方創生臨時交付金は

- Q** 新型コロナ感染対策対応地方創生臨時交付金は、どの事業に充てられるのか。
- A** 物価高騰における対策、負担の軽減などの支援として運送業者支援、農業者支援、漁業者支援を対象。

まちづくり課

## 下水道基金条例の廃止について

- Q** 下水道基金条例の廃止について、廃止した基金は今後どうなるのか。
- A** 下水道特別会計に繰り入れ、新年度より公共下水道事業会計に引き継ぐ。

地域整備課

## 学校給食費無償事業補助金の内容

- Q** 第3子以降学校給食費無償事業補助金の内容について。
- A** 扶養する第3子以降から給食費を無償にする。現時点で県の要綱では3月までという事になっている。負担割合は県1/2、町1/2である。

学校教育課

## 高額療養費の状況は

- Q** 国民健康保険税の減額について対象者は。
- A** 出産予定の方。母子手帳に記載された出産予定日を基準に一定期間の税額を免除する制度。社会保険はすでに取り組んでいる。国民健康保険は令和6年1月から導入。

税務課

## ふるさと納税寄付金の増額補正

- Q** ふるさと納税寄付金の増額補正の内容は。
- A** 周辺自治体のご協力もあり、品数も増加した関係で寄付額の増加がみられる。10月までで昨年の倍のペースで推移している。

総務課

# 第4回定例会・第3回臨時会の議案に対する議員の賛否

## 〈第4回 定例会〉

○は賛成、×は反対、欠は欠席、△は採決退席

審議案件		沼田	田村	藤本	宮本敦	神出	水本	井上	西本	大松	宮本隆	
議案	令和5年度宇多津町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和5年度宇多津町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	令和5年度宇多津町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町監査委員条例及び宇多津町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	宇多津町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例	議案の撤回(※)										
	宇多津町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町特別会計条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町下水道基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	宇多津町公共下水道事業の設置等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
香川県市町総合事務組合理約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
発議	専決処分事項の指定についての一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認	議案の撤回について(※) 宇多津町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	○	○	○	○	○	○		

議長は可否同数の時のみ、裁決を行う

議員の賛否

## 〈第3回 臨時会〉

審議案件		沼田	田村	藤本	宮本敦	神出	水本	井上	西本	大松	宮本隆
議案	令和5年度宇多津町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	

# 町政を問う

(一般質問の件名)

藤本 和代	・災害における対応は ・幼稚園児減少の対策は	西本 祐子	・瀬戸内国際芸術祭の準備を ・補助事業の見直しは
宮本 敦夫	・瀬戸内国際芸術祭参加方針を問う ・試験運行バス路線拡大と価格公平化	大松喜次郎	・四国健康村の南側道のポール撤去を ・空き家の除却費用の支援拡充を
神出 佳宏	・地方創生臨時交付金の使い道は ・加齢性難聴者に補聴器購入助成を	沼田 友紀	・学校での月経・体調不良時の対応は
水本富美子	・アピアランスケアの助成を ・投票支援カードの導入を	田村 充	・GXの戦略とロードマップ ・マイボトル推奨と給水機設置を提案 (他3件)
井上 弘治	・シルバー人材センターの配分金を ・新都市渋滞について		

町政を問う



ふじもと かずよ  
藤本 和代 議員

# 災害における対応は

**問** 1月に南部地区対象の防災訓練が行われ、体験の1つに気象台ブースがあり宇多津町に起きやすい液状化について、模型を使って説明があった。災害時に生活の拠点となるべき指定避難所が、液状化などの理由により使用出来ない場合、多くの方々が「避難所難民」になるかも知れない。そこで、どこに避難したらいいのかわからない

「避難所難民」とならないよう宇多津町の対策を伺う。

北山危機管理課主幹 平成25年に公表している香川県液状化危険度予測図では、町内の広い範囲で液状化の危険度がかなり高

いとなっている。指定避難所は6か所（宇多津小学校・宇多津北小学校・宇多津中学校・保健センター・町民体育

館・デュアルスポーツセンター）であるが、もし使用できない避難所が生じた場合、別の避難所の状態や空き状況、道路や橋梁等の被害状況を確認したうえで、別の避難所に誘導することになる。状況によりコミュニケーション分館等の指定緊急避難場所への誘導も考えておく必要がある。

**問** 倒壊等により自宅に住めない場合、仮設住宅が必要になると思う。手順などを伺う。

北山危機管理課主幹 香川県応急仮設住宅建設マニュアルに沿って、まずは公有地での建設用地を県と協議のうえ決定し、順次進めていく。

# 幼稚園児減少の対策は

**問** 10年前に比べ半数以下になっている園児減少の理由を伺う。

原岡教育次長 公立幼稚園の長所は費用が安いことであった。しかし2019年から実施された幼児教育保育の無償化が減少の要因と考える。

**問** 幼稚園の魅力を高める為の事業は。

原岡教育次長 令和2年に公立唯一の満3歳児保育を開始。

令和4年からコミュニティバスを活用して通園支援事業を行っている。

**問** 他の施設では英会話やリトミックなどしているが幼稚園での取り組みや考えは。

原岡教育次長 リトミックは月1回。英語は月2回運動遊びは月1回行っている。

遊びを通して頭も心も

動かし、小学校以降の学ぶ意欲を育んでいる。





みやもと あつお 議員  
宮本 敦夫

## 瀬戸内国際芸術祭参加方針を伺う

**問** 2025年、第6回瀬戸内国際芸術祭（秋会期）に参加するという報告を受けた。来町者による消費の拡大、地域経済振興活性に繋がればと期待する。瀬戸芸開催に向けての説明を願う。

**吉田まちづくり課長** 参加経緯は瀬戸内国際芸術祭

実行委員会から県内の海に面した市町に参加打診があり参加を決定した。予算については、実行委員会等で定められている負担金が令和5年度から3年間で800万円と事務上の経費を予定している。会場予定地やアート作品等は実行委員会が決定し、宇多津町には決定権はな

い。企画運営組織も本町には現時点ではない。今後、住民に対する周知等については、会場、企画内容等決定される中で対応していく。費用対効果は予測しかねるが、参加を契機に本町の交流人口や関係人口の創出に寄与する効果等を期待し準備を進める。

**問** 瀬戸芸は一過性で終わるのか、継続したまちづくりに取入れるのか。

**谷川町長**

2025年に瀬戸芸が開催されて無い中でお答えするのは難しい。瀬戸芸参加を継続することで今後のまちづくりの1つとして有意義なものになるのでは。

## 試験運行バス路線拡大と価格公平化

**問** 南部地域等に対しての路線拡大の予定、価格公平化を行うのか。

**吉田まちづくり課長** これ

までも路線や停留所など見直してきたので、利用状況や住民ニーズ等を把握し、必要に応じて適宜見直したいと考えている。

価格公平化はバス料金の公平化は利用するか利用しないかであり、利用する方には利用者負担をお支払い頂くことを考えている。

**問** 試験運行バスに関して様々な意見や提案を聞く。今後、住民参加型の運行調査研究委員会設置などの考えは。

**谷川町長**

3年前に住民の意見を聞き、議会の総意、要望として試験運行を始め、住民の代表であ

る議員各位が、2年間の試験運行も延長したいという事で、住民参加型になっていると認識している。







かんで よしひろ  
神出 佳宏 議員

# 地方創生臨時交付金の使い道は

**問** 令和5年11月2日に臨時交付金の追加が閣議決定された。推奨事業メニューは自治体が実情に応じて柔軟に活用できるが、コロナ禍の交付金は少ない中での活用だった。今回の増額はどの世代も影響を受けている物価高騰への支援だが、交付金の使い道は。

**吉田まちづくり課長** 臨時交付金の追加は価格高騰の影響の大きい、また価格転換の難しい業種を中心に支援を検討している。

**問** 過去にさまざまな提案をしたが、財源の話になりがちだった。中小企業や非課税世帯より少し上の方々などは支援の手が届いていないと感じるが、

**町長**として支援の考えは。

**谷川町長** 臨時交付金の少ない中、節約や一般財源を投入し対応してきた。他にはない高齢者への給付金も行った。現役世代や中小企業には国が一斉にやるべきと思う。臨時交付金がいままであるか不明だが必要な措置はしていく。

**問** 町は危機的状況と国にしっかりと要望する必要があると思うが、要望の状況は。

**谷川町長** 私は何度も国に意見、要望をしてきた。町村会長会でも要望したが難しい。なかなか聞き入れてくれないので、自助努力をしてきたのが現状である。

# 加齢性難聴者に補聴器購入助成を

**問** 以前、加齢性難聴の支援は認知症発症予防と相関があり、補聴器購入助成をという質問を行ったが、国県の補助がないと財政的に難しく慎重に検討するであった。急速な高齢化が進む中、認知症予防の予算は必要

で、健康寿命が延び、医療費の抑制につながる先行投資とも考えられる。効果的な助成のため町として購入サポートを展開し、補聴器選択の助けや補聴器の特徴を指導する体制の構築を考える。一連の制度への見解は。

**木谷保健福祉課長** 町では、今後高齢者の増加に伴う様々な加齢による疾病等への取組、また障がい者や児童の福祉施策の推進のため、財政負担は増大の見込みで町単独助成の予定はない。一方、認知症予防に補聴器は有用と

認識しており、認知症や介護予防の行事でお知らせし、国や県に加齢性難聴の補助制度創設の要望も検討する。購入サポートは補聴器販売業者などと連携を図り、住民の相談に対応していく。



みずもと ふうみこ  
水本 富美子 議員

## アピアランスケアの助成を

**問** アピアランスケアとは手術や治療が原因で起こる、頭髪等の脱毛や手術の傷痕など外見の変化に起因する患者の苦痛を軽減するケアのこと。医療用ウィッグ、乳房補正

具購入の助成について、昨年3月議会の答弁は、他市町の状況を見守りながら宇多津町の対応を考える。との答弁であった。その後助成する考えは。

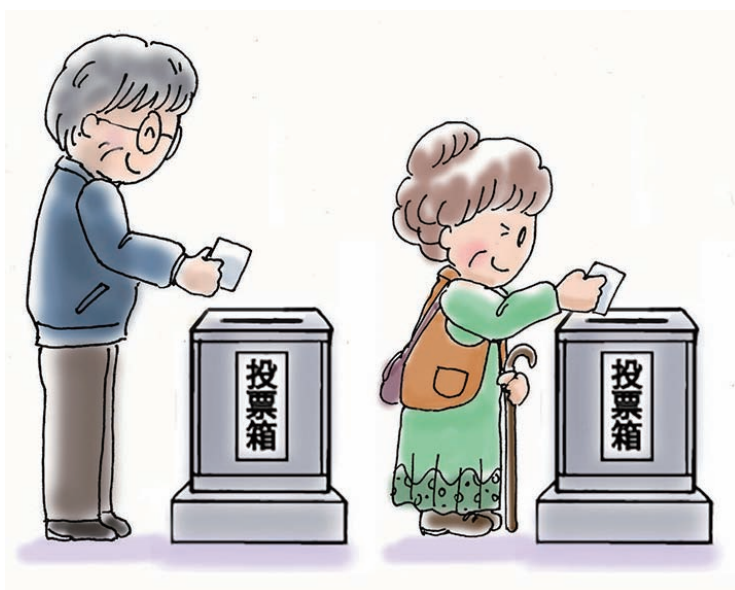
**井原健康増進課長** 県内では、綾川町が令和4年度から、高松市、三木町をはじめとする7自治体が、令和5年度に開始している。現在、約半数の自治体が既に助成を実施して

いる事から、宇多津町としても助成制度創設に向け、前向きに取り組んでいきたい。

## 投票支援カードの導入を

**問** 全国多くの市区町村で導入されている、投票支援カードは、投票する際、必要とするサポートを事前に記入しておくことで、投票手続きがスムーズに行える。支援を必要とする選挙人の利便性向上のため、投票支援カードの導入を検討していただきたい。本年3月議会でも質問したが、その後の進捗状況を伺う。

**磯崎総務課長** 投票支援カードは投票の際に、支援を必要とされている方を含め、全ての方の投票環境の向上につながるものと考えている。他自治体の導入事例を参考に、支援を必要とされている方のニーズを踏まえ、投票支援カードの導入に向けた準備を進めていく。







井上 弘治 議員  
いのうえ こうじ

# シルバー人材センターの配分金を

**問** 昨今の物価高騰、最

低賃金の上昇により全国でシルバー人材センターの配分金の改正が行われている。(公)全国シルバー人材センター事業協会

は、高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織。人材センターの配分金の改正についてお考えを聞く。

また物価高騰の背景もあるが、退職した方が賃金の高い民間企業に再就職されシルバー人材センターの会員減少に拍車がかかっている。会員減少は、処理できる仕事量の減少に繋がる。処理できなかった仕事は単価の高

い民間事業者に委託するようになる。それは町の持ち出しを増加させることになりかねない。町の考えは。

**谷川町長**

シルバー人材センターは、独立した公益社団法人である。その組織の内部の配分金に対して影響を及ぼす立場でない。町の立場としては、シルバー人材センターに各種業務の委託、人材派遣を依頼している。人件費の上昇に合わせて、委託金額などが上昇すれば、必要なものについてはその請求に応じたい。





にしもと ゆうこ  
西本 祐子 議員

## 瀬戸内国際芸術祭の準備を

**問** 2025年開催予定の瀬戸芸には、わが宇多津町も参加の予定で、県の関係者は古街エリアも気に入られていると聞いている。

開催まではすでに2年を切っているが、地域住民に対してどのように賛同や協力を得ていくのか。実行委員会などを立ち上

げるのか、すでに参加している市町からどのような情報を得ているのか。また、瀬戸芸は観光とは切り離せないが、今後観光協会の立ち位置をどうするのか。

**吉田まちづくり課長** 会場予定地などが決まれば、必要に応じて地域住民を

含む各種団体や観光協会と連携しながら準備を進めたい。他市町の動向も参考にしていきたい。

**問** 近隣の市では会期中は全職員が瀬戸芸に携わったと聞く。今は総務課からまちづくり課に1名が兼務しているだけだが、他の課からも応援しては

**谷川町長** 現時点では1名の増員で体制を整えている。2年後の開催にむけては、町職員や議員の皆さんにもボランティアの協力を願いたい。



古民家カフェ (直島町)

## 補助事業の見直しは

**問** 町ではさまざまな団体に事業費の補助を行っている。

先日参加した研修で「補助事業が始まった頃とは状況が変わっているものもあるので、30年を機に見直すべき」という話があった。

担当課ではどのように

補助金の見直しをしているのか。補助金が残っているというようことはないのか。

外部評価委員などによるチェックは受けているのか。

**磯崎総務課長** 補助金については、各団体から補助事業の実績報告書が提出されており、適切なものについて支出している。余っているような事業には減額返還を求めている。外部評価では団体の補助事業までは評価していない。

**問** 補助金のチェックシートを作っている自治体もあるが。

**磯崎総務課長** 一律のチェックシートについては考えてみる。今後は監査も含めてチェック体制を整える。



だいまつ きじろう  
大松 喜次郎 議員

## 四国健康村の南側道のポール撤去を

**問** 浜一番丁の四国健康村から回遊にかけての南側道路の車道外側線に沿って、車止めのポールや

ゲートが連続して設置されている。その場所に車止めが設置されたのは、ハント族問題の発生のためである。現在、ハント族などの問題を聞かない。

ポールやゲートを撤去してもよいと思うが、どのような考えか。

**小西民生生活課長**

道路のポールの設置の経緯として、臨海公園のリニューアルに伴い、平成21年頃から週末に10数台の車が集まり、事故や犯罪など

多数の事件が発生していた。その対策として、町と警察でハント族対策の協議を重ね、平成22年12月に安全・安心まちづくり推進事業として、ハント族が多い路線にセンターポールを立てていき、

二重駐車ができない対策や路上防犯カメラの設置

を行った。最近では、近隣住民からの苦情もない。ポール設置周辺の住民の一部からも、必要ないと声を伺っている。今後は、安全・安心まちづくりの会の方々と、撤去に向けた協議を前向きに行っていきたい。

## 空き家の除却費用の支援拡充を

**問** 今年は日本の世帯数がピークを迎え、空き家も急増すると見込まれている。「宇多津町老朽危険空き家除却支援事業」がある。申請や相談数はどのような状況か。

老朽危険空き家でなくとも、空き家の除却補助をしている自治体もある。また、町内でもアパート

の空き家が増え、公衆衛生の悪化や景観の阻害などが感じられるようになった。どのように考えているのか。

**大利地域整備課長**

毎年、国及び県の予算と調整の上、予算確保した件数分について申請の受付をしている。補助件数に限り

があるので、戸建住宅が対象である。今年度は6件である。相談は年間10件程度である。

老朽危険空き家でない空き家、長屋と共同住宅などの空き家の中には、適正に管理されず老朽化による安全性の低下など、周辺の生活環境に悪影響を及ぼしかねない物件も

ある。健全な生活環境の保全を図るために、国、県、他の自治体などの動向にも注視しつつ、関係各課と連携をとりながら、様々な視点から対策の検討を進めたい。





ぬまた ゆき 沼田 友紀 議員

## 学校での月経・体調不良時の対応は

**問** 文部科学省は2023年11月に、公立高校入試の受験日と月経（生理）が重なった生徒への対応について追試は可能とする通知を年内に出す考えを明らかにした。文部科学省の通知でも調査書で

生理による欠席が不利にならないよう配慮が求められる。調査書等での配慮はもちろん、定期テストにおいて別室受験を含めた柔軟な対応をする必要があるのではないか。本町における小中学校での月経を含む体調不良時の対応や配慮について伺う。

**原岡教育次長** 中学校の定期テストの際、体調不良を訴える生徒は保健室等

の別室で受験することが可能。学校での急な体調不良については、まずは保健室で様子をみて回復をしない場合は迎えに来てもらうなどの対応をしている。

**問** 学校での生理用品の配布など、急な体調の変化があったときにも安心して過ごせる工夫はされているのか。またそれは広くアナウンスされているのか。

**原岡教育次長** トイレに生理用品を置いてある学校、トイレの個室全てに「何かあれば保健室に来てください」というチラシでアナウンスしている学校もある。

**問** 月経や体調不良時の対応について児童や生徒に限らず、教職員にとっても課題になる部分である。教職員も含めて学校全体で柔軟に対応し、我慢することなくケアできる環境づくりに取り組む必要があるのではないか。

**原岡教育次長** 共通的な対応は難しいものがあり、個別対応となる。急に対応する必要がある場合、空いている教員が代わって対応することになる。

**問** 月経時に児童・生徒が自らの体調の変化に気が付き訴えるためにも月経時に起こりやすいトラブルを知っておくこと、また月経に伴う困難を軽く

するためにも産婦人科等との連携は必要不可欠である。このことは伝えられているのか。

**原岡教育次長** 授業の際に周知はしているが、具体的には個別対応となる。養護教諭に相談があった際に産婦人科への受診を勧めた例はある。

する。学校での急な体調不良については、まずは保健室で様子をみて回復をしない場合は迎えに来てもらうなどの対応をしている。

学校での生理用品の配布など、急な体調の変化があったときにも安心して過ごせる工夫はされているのか。またそれは広くアナウンスされているのか。

原岡教育次長 トイレに生理用品を置いてある学校、トイレの個室全てに「何かあれば保健室に来てください」というチラシでアナウンスしている学校もある。

月経や体調不良時の対応について児童や生徒に限らず、教職員にとっても課題になる部分である。教職員も含めて学校全体で柔軟に対応し、我慢することなくケアできる環境づくりに取り組む必要があるのではないか。



たむら みつる  
田村 充 議員



※グリーントランス・フォーメーションの略

# ※GXの戦略とロードマップ

**問** GXとはクリーンエネルギー中心への転換や変革を意味する。議会で環境モデル都市である豊田市等を視察に伺ったGXの要素となるカーボンニュートラルの達成や脱炭素社会の実現に向けたロードマップは。

**小西住民生活課長** 再生可能エネルギー導入に関する分析を基に、住宅用太陽光発電システムと蓄電池の設置費用に対する補

助を行っている。ソフト事業として町民や事業者に向けて普及啓発や意識醸成を図りたい。

**問** 町の地球温暖化対策の大きな目的は。

**小西住民生活課長** 一層の省エネ、二酸化炭素排出量の削減を主としている。

**問** CO<sub>2</sub>削減が目的であれば、燃料電池やガス燃料で発電する設備も対象に

するロジックが成り立つ。2050年に全ての住宅が太陽光発電か省エネ設備設置があるべき姿とある。新築住宅や転入してくる住民への対象も大切だが、既存の住宅や今の納税者への施策としてはいかがか。

**小西住民生活課長** 太陽光、蓄電池以外の補助以外はない。燃料電池（水素やガス）を原料にした設備への補助は他の市町の動

向を注視していく。

**問** 町長のGXの認識は。

**谷川町長** 県下でも早期にESCO事業に取り組み、公共施設の設備改修や防犯灯のLED化等を進めていると認識している。二酸化炭素削減に向け町民や企業の協力を経てできるところから取り組みたい。

## マイボトル推奨と給水機設置を提案

**問** 環境負荷を下げる取り組みでペットボトル削減を目的にマイボトルの利用が推奨されている。住民の生活動線（公共施設や学校）に給水機設置の提案をするが見解はどうか。

**磯崎総務課長** マイボトル持参の職員が多いたいが職員全体で推奨していきたい。各公共施設に給水機は設置していない。

**問** 町主催の会議等で飲料を提供する際、ペット

ボトルに代わる飲料の提供はどうか。すぐにでき、かつメッセージにもなる。

**磯崎総務課長** 現状ペットボトルを出しているが、リサイクルを考慮し紙パックも今後検討する。

**問** 2050年カーボンニュートラル、2040年海ごみゼロを論じる時に、大人より子どもを中心にアプローチするのはどうか。

**高瀬教育長** SDGs教育、また小学生は川の清掃に取り組んでいる例がある。



多くの皆さまに傍聴へお越しいただきました。ありがとうございます。

## 議会を傍聴してみませんか？

次回の定例会は **3月** の予定です  
日程は、ホームページや  
広報うたづ3月号でお知らせします

町役場本館の4階  
定例会の本会議（一般質問）  
や委員会の傍聴ができます

## 傍聴にはルールがあります



議場内は静粛に



撮影禁止



携帯/スマホの使用禁止



PCの使用禁止



飲食禁止



禁煙



危険物持ち込み禁止



議場への入場禁止

## 予告

「議会だよりモニター」を来年度開始します。  
詳しくは次号（5月号）でお知らせいたします。

## あとがき

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

節分という言葉には「季節を分ける」という意味があり、昔の日本では春が一年の始まりとされ特に大切にされたようです。

季節の分け目には邪気（悪いもの）が現れやすく、その象徴が現代では「鬼」となりました。

邪気被いとして「鬼は外、福は内」と言いながら炒った豆をまき、無病を願うばかりです。

宇多津町の皆様の健康とご多幸が続きますよう議員一同、力を合わせて頑張ります。（藤本 和代）

### 議会広報編集委員会

委員長 神出 佳宏

副委員長 井上 弘治

委員 沼田 友紀

委員 田村 充

委員 藤本 和代

### 発行責任者

議長 宮本 隆